

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法による方法を採用している。

(2) 引当金の計上基準

(i) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(ii) 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する金額を計上している。

(iii) 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生している額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政運営資金積立資産	34,000,000	0	0	34,000,000
退職給付引当資産	7,962,961	819,245	0	8,782,206
シルバー会館等修繕積立資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合 計	47,962,961	819,245	0	48,782,206

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
財政運営資金積立資産	34,000,000	(0)	(34,000,000)	(0)
退職給付引当資産	8,782,206	(0)	(0)	(8,782,206)
シルバー会館等修繕積立資産	6,000,000	(0)	(6,000,000)	(0)
合 計	48,782,206	(0)	(40,000,000)	(8,782,206)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	507,600	174,488	333,112
構築物	976,493	507,672	468,821
車両運搬具	1,820,013	1,820,011	2
什器備品	2,504,378	2,186,919	317,459
合 計	5,808,484	4,689,090	1,119,394

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金 (国庫補助金)	厚生労働省	-	24,915,000	24,915,000	-	-
運営費補助事業	(補助事業者)	-	7,236,000	7,236,000	-	-
高齢者活用・現役世代雇用サポート事業	(公社)福岡県シルバー人材センター連	-	14,179,000	14,179,000	-	-
地域就業機会創出・拡大事業	合 会	-	3,500,000	3,500,000	-	-
久留米市補助金	久留米市	-	34,535,000	34,535,000	-	-
合 計		-	59,450,000	59,450,000	-	